

# しんあい

季刊

社会福祉法人  
**多摩同胞会**

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10

TEL 042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、  
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>  
をぜひご覧下さい

2010年(平成22年)8月25日発行 第74号 ◆編集と発行 しんあい編集部



きずなの仲良し親子です。「お花がきれいね」(きずな)

- ・ 特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・ 特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・ 高齢者在宅サービスセンター  
泉苑ケアセンター
- ・ かんだ連雀高齢者在宅サービスセンター
- ・ 養護老人ホーム信愛寮
- ・ 千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・ 特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・ 子ども家庭支援センターしらとり
- ・ 府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・ 母子生活支援施設白鳥寮
- ・ 府中市立あさひ苑
- ・ 母子生活支援施設東京都網代ホームきずな
- ・ 高齢者在宅サービスセンター
- ・ 府中市子ども家庭支援センターたち

◆ 介護保険を考える33

◆ スウェーデン研修報告

◆ 施設だより  
今が旬！熱いアツイです

# を考える 33

鈴木 恂子



## 施設の在り方の再定義

出典：「更なる規制改革の推進に向けて～今後の改革課題～」(平成 21 年 12 月 4 日規制改革会議)

【課題】特別養護老人ホーム(特養)は、行政措置対象施設としての機能をほぼ失っているものの、依然として補助金・免税や参入規制等によって優遇措置を受け続けており、実質的に同様なサービスを提供している有料老人ホーム等との競争条件が同一ではない。また、参酌基準や総量規制による実質的な供給抑制や全国共通の設置基準が、特に大都市部における施設不足を深刻なものとしている。したがって、利用者にとって分かり易く、需要に応じて質の高いサービスが供給されるよう、以下のような改革を行うべき。

【具体的施策】・保険財政や地域間格差に一定の配慮をしつつ、参酌基準および総量規制の在り方を見直す。・自宅や住み慣れた地域内の集合住宅等において利用する「居宅」サービスと、個々の事情や本人の希望により施設等に入所する「施設」サービスの分類に再定義することにより、利用者にとって分かり易い体系へ整備する。・株式会社や社会福祉法人等の多様な事業者が同一条件下で自由な競争を行えるよう、介護事業は原則として課税対象とする。その際、セーフティネットの在り方について、公的機関が行うべきサービスを含め整理する。・住民税非課税世帯が特養入居時のみ食費・居住費等の補助を受けられる現状を見直し、利用者の資産状況も考慮し、支払い能力を適切に判断した上で、補助の在り方を再検討する。その際、経済的に困窮している国民の最低限度の生活は介護保険ではなく、生活保護として確保する。

## 比較

※介護報酬(月額) = 単位数 × 30日 × 10円で算定。加算等を除く。

養護老人ホーム		新型 特別養護老人ホーム (個室ユニット)		グループホーム		有料老人ホーム		
設サービス		施設サービス		地域密着型サービス		居宅サービス		
老人福祉施設		介護老人福祉施設		認知症対応型共同生活介護		特定施設入居者生活介護		
従来型個室		ユニット型個室		ユニット型個室		住居		
額)	単位(日)	介護報酬(月額)	単位(日)	介護報酬(月額)	単位(日)	介護報酬(月額)	単位(日)	介護報酬(月額)
円	589	176,700円	669	200,700円	831	249,300円	571	171,300円
円	660	198,000円	740	222,000円	848	254,400円	641	192,300円
円	730	219,000円	810	243,000円	865	259,500円	711	213,300円
円	801	240,300円	881	264,300円	882	264,600円	780	234,000円
円	871	261,300円	941	282,300円	900	270,000円	851	255,300円
17,670~26,130円		20,070~28,230円		24,930~27,000円		17,130~25,530円		
						オプション(有料)		
						有料		
						自己調達 または 有料		
度実費 ・ 定額一日150~300円 / いずれかまたは組合				自己調達 または 有料		自己調達 または 有料		
円(月額 41,400円) ※所得により減額制度あり				月 40,000円前後が多い		月 50,000~70,000円が多い		
1,150円 × 30日 = 34,500円		1,970円 × 30日 = 59,100円		月 70,000円前後が多い		有料(多様)		
なし				0~数十万円		数百万~数千万円以上		

従来型の特別養護老人ホームなどでは、保険料段階が基準額(本人非課税)以下の高齢者が大半を占め、食事代、居住費等に軽減措置(補足給付)が適用されています。従って、食事代、居住費も補足給付の対象となるそれぞれの基準額で設定しています。また、在宅では介護保険では対象外としている生活支援や別途給付になる福祉用具も、報酬に含まれるとされています。利用者負担に転嫁することは厳しく制限されており、利用者の状況から転嫁できないのが現実です。そのため施設の運営は厳しく、現場で働く職員の業務範囲は幅広く、さらに事務的業務も増える一方です(処遇改善は給与の改善に加えて人員配置や制度上の業務のみなおしも必要です)。とても有料老人ホームと比較される状況ではありません。福祉施設としての機能が、法人の理念や現場の努力に依存するのではなく、制度として機能とするように改善してほしいと考えます。みなさまはいかがお考えでしょうか。



## 介護保険制度

特別養護老人ホームは、介護保険法の介護老人福祉施設になりました。法律上は要介護1以上の高齢者は入所できますが、入所基準や介護報酬上から介護度の高い人にシフトし、2008年からは要介護3以上の高齢者を対象とするよう通知がでました。介護保険法にかわったことで福祉施設としての側面は薄れ、介護サービス提供施設になってしまいました。一方、施設建設の補助金も個室ユニットが基準となり、個室部分は補助対象にはならず、利用者の居住費負担になりました。そのため新型特養といわれる個室ユニットの特養の利用者負担は食費を含むすべての負担は15万円前後になり、有料老人ホームとの境界がなくなりつつあります。そのため右のような議論になるのかと思われます。しかし介護度が低くても、同居する家族がなく、住居もなく、勿論有料老人ホームに入るだけの所得もなく、自己責任では生活できない高齢者は決して少数ではなく、地域に埋もれています。かつて介護保険法と生活保護法に間に位置する老人福祉法により多くの高齢者の生活がまもられてきました。そして今も老人福祉法による生活全般を支える制度を必要としている高齢者が多くいます。特別養護老人ホームは、有料老人ホームと同じ俎上で議論される前に、福祉施設として本来的に果たすべき役割機能の再構築が望まれます。

### 老人ホームをめぐる制度の変遷

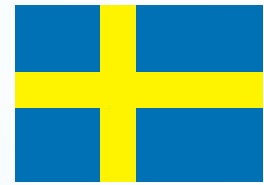
- 1950 ・生活保護法の保護施設として養老施設がある
- 1963 ・老人福祉法による養護老人ホーム・特別養護老人ホーム創設
- 1957 ・老人福祉施設に費用徴収制度導入される  
(応能負担－本人家族双方からの費用徴収)
- 2000 ・介護保険制度施行により特別養護老人ホームが介護老人福祉施設になる  
(応益負担－介護度の重い人の利用料が高い)
- 2003 ・養護老人ホームが介護保険法の特設施設  
または外部介護サービス利用と併用になる  
・建設費の補助金は個室ユニットが対象になる
- 2005 ・特別養護老人ホームの居住費、食費が利用者負担になる
- 2006 ・地域密着型の小規模施設の建設が勧められる  
・多様な有料老人ホーム急増する
- 2010 ・特別養護老人ホームの個室化論争

### 施設の種類による介護報酬等の

施設名	従来型	特別
介護保険制度上分類		施設介護
居室スタイル	多床室	
単位・介護報酬	単位(日)	介護報酬(月)
要介護1	651	195,300
要介護2	722	216,600
要介護3	792	237,600
要介護4	863	258,900
要介護5	933	279,900
内一割利用者負担	19,530～27,990円	
個別介護		
生活支援		
福祉用具		
日常生活費	自己調達 ・ 個別に都	
食費	基本料 一日1,380	
居住費	320円×30日=9,600円	
入居金		

介護保険の給付対象となるサービスは、居宅サービス（在宅でケアプランに基づく各種サービス）と施設サービス（介護老人福祉施設、介護保健施設、介護療養型医療施設）と二つに区分されています。しかし特定施設サービスとして有料老人ホーム等があり、地域密着型のサービスとしてグループホーム等があります。いずれも在宅扱いでありながら、指定をうけると特定施設入居者介護給付の対象となり、施設サービスの扱いで、上記のように大差のない報酬です。有料老人ホームは福祉用具（ベッドや車いすなど）もおむつも実費であり、生活に関わるサービスは利用者負担、混合介護といわれるオプション部分の利用者負担も含め、多くのところでは月額25万円前後の自己負担が発生します。かなりの所得がないと入居することはできません。グループホームの場合も、福祉用具やおむつ代等を含め、月額15～20万円の負担になるようです（いずれも都内）。

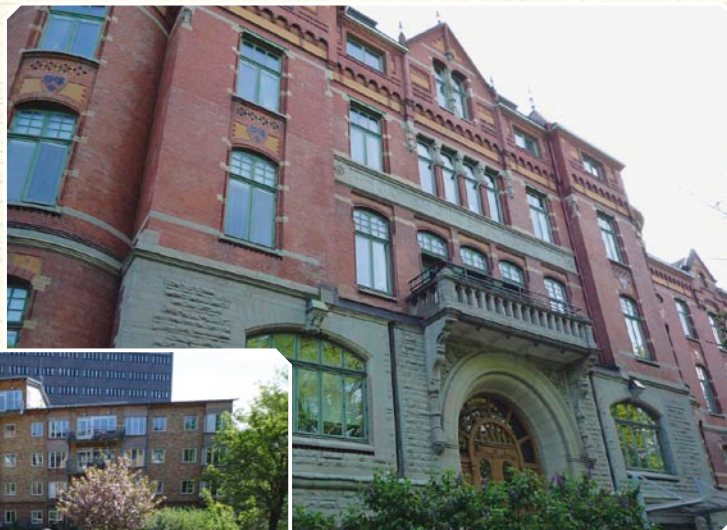
# 2010年 スウェーデン研修報告



於：スウェーデン・ヨーテボリ市  
三つの財団

報告者：竜崎 春希（泉苑）  
伊藤 賢司（緑苑）

研修先の一つ。エンゴードバッケンAハウス。レンガ造りの外観で歴史を感じます。1階にはレストランがあり利用者だけでなく、隣接されている病院のスタッフや地域住民も気軽に利用しています。



エンゴードバッケンの中庭。庭師が定期的に管理しています。ここで利用者は五感で自然を感じることができます。

2004（平成16）年から始まったスウェーデンでの実地研修も今回で7回目の派遣となりました。毎年、環境、アクティビティ、認知症、職員教育等のテーマを決めて研修に参加していますが、今年は「福祉機器の活用」をテーマとしました。

また、初めて男性職員を派遣し、研修の中に夜勤業務も組み込み、さらに自宅で生活する高齢者のお宅にも訪問し、ゆたかな在宅サービスについても学びました。

三つの財団のみなさん、コーディネーターの友子ハンソンさんにはたいへんお世話になりました。

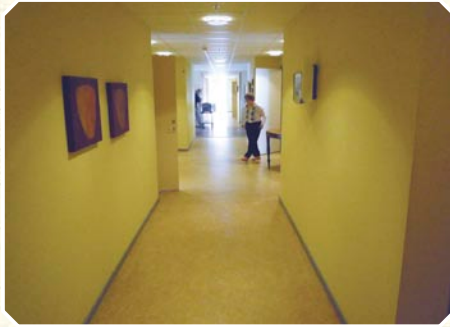
## □ 研修プログラム □

	月 日	曜日	研修内容
1	5月23日	日	ヨーテボリ着 研修スケジュール確認打ち合わせ
2	5月24日	月	午前：エンゴードバッケンAハウスで三つの財団理事長モニカ氏より財団の運営について説明を受ける 午後：エンゴードバッケンBハウス研修
3	5月25日	火	午前：エンゴードバッケンBハウス研修 夜間：ヴェガハウスで夜勤業務
4	5月26日	水	午前7時：夜勤業務終了 午後：ヨーテボリ市内見学
5	5月27日	木	午前：移乗、福祉機器実演研修 午後：エンゴードバッケン講堂で認知症研修に参加 エンゴードバッケンCハウス見学
6	5月28日	金	アクティビティ（集団体操）参加
7	5月29日	土	在宅高齢者の自宅訪問 福祉サービスや福祉用具の活用について学ぶ
8	5月30日	日	ストックホルム自由行動
9	5月31日	月	
10	6月1日	火	ストックホルム発
11	6月2日	水	成田着

## 利用者と職員の安全と安心

長年「どうして補助具を使わない？」という言葉だけがあり、「人がいないから、忙しいから。」と流されてきました。腰痛で悩む職員が多い事は確かです。職員に負担がかかっているという事は利用者にも負担がかかっているということであり、どのように両者にとって負担のない介護ができるかということをご施設でも悩んでいるのではないのでしょうか？

私たちも今まで仕事をしてきた中で、新しい物を導入していく事や福祉機器・用具を使用すること自体に今一歩踏み出せない状況がありました。



エンゴードバッケン建物内廊下。注目すべきは壁の色使いです。薄い黄色やクリーム色、薄い緑色です。この色は精神を落ち着かせる色です。1階は薄い緑色にしていますが、庭の自然「緑」の延長と考えています。



単に食事介助をするのではなく、ナイフやフォークの使い方を忘れていた利用者の見本となるよう、寄り添って食事を一緒に食べている姿もありました。

日本からのお土産として、紙風船を用意しました。



研修に行く前には福祉機器リフターのよ  
うな大きな機械というイメージがあり、「そんなもの今の施設で使えるがわけない。」と思っ  
ていました。しかし、いきなり今ある負担を  
全部なくそうとしたり大幅に減らそうと考  
えるのではなく、現状何が出来るのか？を考  
え、少しずつ変わっていくためのきっかけをつ  
くることがまず必要です。

立ち上がり補助機器の使用  
方法を学びました。スウェー  
デンでは人（職員）の力のみ  
で人（利用者）を持ち上げる  
ことは一切ありません。  
必ず職員二人介助です。



夜勤業務中。夜勤帯の巡  
視は希望される方以外は  
しないというのが印象的  
でした。



三つの財団では補助具活用や移動方法につ  
いては、一人ずつの利用者に対して指示書ど  
おり同じ方法で実施されている事が強く印象  
に残っています。  
まず、「職員と利用者お互いが安全」という  
目的で、残存機能を活かし、利用者ができ  
ることを支える。「自分に負担が少ない」相手も  
楽で安心」ということが重要です。さらに職  
員のトレーニング器具も充実していて、各  
自で身体を鍛えられる設備がありました。

何よりすばらしいか  
ったのはこれらを  
「全員が一丸となっ  
てやっている」事で  
す。仕事をこなす事  
が主になっているの  
ではなく、利用者が  
生活をする事が主に  
なった業務が出来て  
いた事もすばらしい  
と思います。日本で



も「利用者に対する思い」の部分で遅れを取っ  
ているわけでもなく、関わり方が悪いわけ  
でもありません。逆に手厚いと思える部分もあ  
ります。利用者が生活しやすいように何をす  
るべきか、何をしてはいけないか?という考  
え方は現場にも浸透していると思っ  
ています。

どの福祉機器(福祉用具)をどの利用者に、  
どのように使用していくかの指示を理学  
療法士や作業療法士が細かい指示を出し、  
全ての職員が同じ対応をできるよう徹底  
しています。



しかし、同じ事を訴える相手に「またー」と  
いう態度が少なからず出てしまったり「時間  
がないから」と急いだりしてしまう事は、見  
直さなければならぬ業務があるからだと思  
います。そして職員が負担を感じているとい  
うことは利用者にも伝わり、その利用者にも  
負担になっていると思えます。



リハビリ器具です。振動するタイプで血行  
の促進や筋力維持向上を目的としていま  
す。

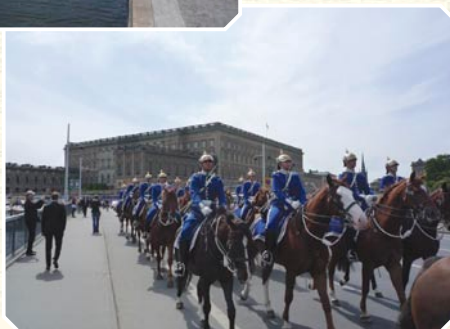
国や生活スタイル、環境が違うから「これ  
は良いな」と感じてても、実践するには難しい  
事もあります。しかし、不安や不穏を訴える  
方のスペースには、いろいろな物を置かずシ  
ンプルで感情が落ち着く色合いにすることや、  
音や臭い、自然や人とのふれ合い方、補助具  
の活用等まだまだ日本では改善の余地がある、  
と思えます。

まずは利用者の生活暦にもっと興味を持ち、  
その方がどのような生活を送る事を望んでい  
るのかを知ろうとすることが大切です。業務を  
「仕事をこなす」こととするのか「利用者」に安  
心して生活していただくことにするのかをき  
ちんと決め、それを施設、部署単位でしっかり  
と守るための行動を起こすことが重要と感じ  
ました。次にそれらを行っていくためにどの  
ようにしていくのか?という業務作りも見直  
す点だと思います。介助方法や補助具の活用  
をすすめる中で「何故そのことを行うべきな  
のか?」という事を全員で理解しながら仕事  
をしていけば、今よりも利用者向き合える  
のではないのでしょうか?多摩同胞会では事業  
計画で同様の事は考えていますが、現場では  
どうしても「1日を安全に終える為に仕事を  
こなすこと」に意識が集中してしまっています。  
行事やアクティビティーに関しても、何の目  
的で行っているのか?を担当職員は考えている  
のでしょうか?また利用者には伝えられているで  
しょうか?「全職員で共有できるシステム作り」  
が施設をより良くしていくと強く感じました。

お世話になったリハビリスタッフと。



スウェーデンの首都であるストックホルム。「水の都」というだけあり、すばらしい景観を堪能できました。



6月中旬にスウェーデンの皇太子の結婚式が予定されていました。スウェーデンの至る所でお祝いのポスターが掲示されていました。もちろん、研修先の施設でも一大イベントとし施設内にポスターを貼っていました。



友子・ハンソンさんの知人宅に伺うことが出来ました。難病をお持ちですが、数多くのサービスを利用しながらアパートで一人暮らしをしています。施設内の利用者の居室と雰囲気はほとんど変わりません。「施設生活は在宅生活の延長」なのです。

最後に、リハビリチームとの研修で日本の現状「対応人数やベッドの片面が壁に面している事など」を説明すると「与えられた環境の中では決して悪いやり方ではない。」との返答も得られ、これは自信になりました。しかし長く安心して働くために、また利用者にも安心した生活を送っていただくための介助方法を考える時期に来ていると思います。前述したように施設一丸となって同じ考えの下に行わなければ意味がありません。例えば横シートを摩擦抵抗の少ないシートに変えて使ってみることや、特定の方への2人介助は慣れるとそんなに時間がかかるものではないと思います。今回の研修報告が第一歩になるように私たちも努力したいと思います。

（竜崎 春希・伊藤 賢司）

6月末に泉苑で報告会を行いました。写真をパワーポイントで紹介、また福祉機器研修の様子や在宅生活を送られている方との会話をビデオで紹介しました。



# 多摩同胞会 平成22年度 新人紹介

## どうぞよろしく！



ド新人です。若  
干本人の「気が  
合い」が暑苦し  
い感じが(ハハ)  
よろしくお願  
い致します。



なかなかお会い  
する機会が少な  
いですが、見え  
ないところでよう  
努力いたします。

あさひ苑居室介  
護支援センター 真  
金城



この4月から入  
職しました。人  
様のお力になれ  
るよう一所懸命  
がんばります。

あさひ苑  
デイサービス  
小川美沙希



笑顔をお客様に  
大切にする。朝  
の体機時間を見  
分ける工夫が自  
標です。

泉苑ホーム3階  
櫻井恭子



安心・安全に過  
ごして頂けるよ  
う、笑顔で精い  
っぱい頑張っ  
ています。

あさひ苑  
ショートステイ  
松浦秀和



まだまだわから  
ない事ばかりで  
すが、笑顔をお  
客様に伝わりた  
いと思います！

泉苑ホーム2階  
志賀香澄



ご利用者の皆さ  
んが楽しく1日  
を過ごしていただ  
けるよう日々精  
進します。

あさひ苑ホーム  
齊藤俊也



まだ分からない  
事ばかりですが  
ご利用者が快適  
に過ごせるよう  
日々努力してい  
きたいです。

泉苑ホーム2階  
平良理絵子



介護員として  
知識や経験やし  
つ、日々全力  
で向上心を持って  
行きます。

あさひ苑ホーム  
永井厚輔



社会人11年目  
ですが、責任の  
重さを覚えています。  
笑顔をお客様に  
届けることが  
目標です。

泉苑ホーム3階  
岩本 綿貫



ご利用者に「ま  
たよろしくね」  
と声をかけて  
いただき、励み  
になります。介  
護士を目指し  
たいです。

岩本ショートステイ  
菊地春美



唯一？自分で誇  
れるこの笑顔で  
皆様を幸せに思  
い、笑顔をお  
客様に届ける  
ことが目標です。

かんだ連雀ホーム  
柳瀬行宏



天然を隠し、お  
だやかな笑顔で  
お客様をおも  
てたいです。

かんだ連雀  
あんしんセンター  
山名裕里



コミュニケーション  
を大切にする  
ことが、利用者  
の笑顔につなが  
ります。笑顔  
を大切にしたい  
です。

かんだ連雀  
デイサービス  
新倉君枝



ご利用者との触  
れ合いを大切に  
しながら、一歩  
一歩、歩んでい  
きたいです。

かんだ連雀ホーム  
増田香織



ご利用者が笑顔  
で生活するよう  
に、笑顔をお  
客様に届ける  
ことが目標です。

かんだ連雀ホーム  
友田充洋



これからも元氣  
いっぱい頑張  
ります。

しらとり学童・  
トワイライト  
山本菜穂子



子どもたちと  
楽しく過ごして  
いきたいと思  
います。

しらとり保育  
渋谷真理佳



安心して、のび  
のび過ごせる保  
育室にしてい  
たいです。

しらとり保育  
木村恵理佳



昨年9月に入職  
し、勉強の日々  
です。おかげさ  
ま、迷惑をおか  
さず、笑顔をお  
客様に届ける  
ことが目標です。

緑苑在宅介護  
支援センター  
秋元 拓



施設の相談員は  
始めてなので、  
全日です。頑張  
ります。

緑苑特養  
菅野住子



3ヶ月間研修を  
して、毎日勉強  
しながら、早く  
一人前の職員  
になりたいです。

緑苑特養  
五味友莉香



# 施設 だより



## 今が旬！熱いアツイです

毎日、温度計の数字もうなぎのほしです。暑さもさらに暑くなる各施設の熱い話題をどうぞ！

### 岩本町

#### 転ばぬように点検第一

大きな事故があつてからでは遅いです。岩本町ほほえみプラザでは、「転ばぬ先の杖週間」として、大きな事故が起きないように事前にいろいろな所を点検しましょうと、その一週間はみなさんが使っている車椅子や歩行器、杖などを点検しています。

「ねじは緩んでないかな？」「タイヤの空気は大丈夫ですか？」  
「杖の滑り止めのゴムはついていますか？」  
「ねじは大丈夫です！高さも大丈夫ですね。」「いろいろありがと。」

このようなりとりが各フロアでされています。何も無く安全が一番、その為には常日頃から細かいところをチェックすることが、何よりも大切だと実感する期間でもあります。



実は厨房でも厨房機器のチェックをしています。料理を作つて出来上がったものを運ぶ台車の車輪もその一つ。もしも、運んでいる最中に車輪が取れてひっくり返つてもしてしまつたら…  
一大事です。そうならないように、一台一台点検しました。今回は緩んでもなく、大丈夫と厨房職員も安心。

このような点検が習慣化できるようになることができると安心安全な毎日を過ごせることでしょう。

今、岩本では点検がアツイ！！

（岩本町ほほえみプラザ

食事係 谷川 蘭）

### 緑苑

#### 燃える作品づくり

信愛寮の利用者の中で今が旬で熱いものといえば「折り紙」です。6月中旬頃より、七夕飾りのための折り紙を始めました。

苑内の三ヶ所に道具とダンボールを設置すると、各場所で居室が近い方々が一チームとなり、暗黙の（？）対抗戦が繰り広げられます。

「あつちの箱はもういっぱいだったよ」「こつちの方が上手かな」などと、暑さにも負けず、熱い熱いおしゃべりも交えながら、見事に折り紙を芸術作品へと生まれ変わらせてくださいます。

7月になると、近所の保育所の園児たちと協力し、その作品を大きな笹に飾ります。毎年各場所の笹をつい見比べてしまいますが、どこも歴史のある手で一つ一つ作り上げられた作品が輝き、何とも言えない感動を味わいます。

短冊にお願いのごとも忘れずに☆

「皆様、いつまでもお元気で」。

（緑苑 支援員 齋藤 充子）



## あさひ苑

### 捕獲大作戦!!

あさひ苑には日本庭園があります。東屋や竹林があり、水も流れていて、ちよっとした気分転換が出来る空間になっています。その水場に、今回ある生き物を放してみました。それは、大きさらセンチぐらいのザリガニです。ザリガニは、石の影に隠れてしまうので、なかなか姿をみることができません。デイサービスの中でその話をしたところ、そのザリガニをひと目見ようと、利用者の方も日本庭園を探索しています。こちらの姿が見えてしまうと、サツと逃げてしまいます。なので気配を消しながら探しています。見つけた!と思って喜んだら、脱皮した抜け殻だったこともありました。ある日、作戦を考えました。するめを餌におびき出そう作戦です!しかし、餌だけ取られて失敗。捕獲作戦はまだまだ続いています!

(あさひ苑デイサービス統括係長 今福 崇)



## 泉苑

### 初期消火せよ

「初期消火せよ!」「よし!」

泉苑では毎年、自衛消防訓練審査会に参加しています。

最初の練習では、今回初めて顔を合わせた3人なのでこの

「よし!」の掛け声さえ合わせることができず、また、日常生活には無い独特な動きに体がついていきませんでした。

しかし、先輩職員の指導や、練習中にも通がかかった職員、泉苑の利用者、しらとり児童から「頑張ってる」という言葉をもらい頑張ろうという気持ちが増えました。

本番では熱いエールのおかげで練習の成果を出すことができました。

こんなに応援してもらえることをとても嬉しく思い、感謝しています。

短い期間でしたが心も身体も熱くなれた時間でした。

(泉苑 食事係 小園 知香)



## 連雀

### 笑顔が旬です!

かんだ連雀では、年に一度の大切な誕生日に、単にプレゼントを贈るだけでなく、昔からある、そしてご利用者に馴染み深いお店に行くことがあります。

そこに行く施設ではあまり見られないような顔を見せてもらえます。ステキな笑顔にキラキラした目、とても幸せそう!!そんなご利用者に職員も幸せな気分になります。

馴染みの場所で、おいしいものを食べながら、自然に思い出話にも花が咲きます。普段、外に出る機会が少なくなったご利用者にとって、こうして大好きなところに出かけることが、いかに楽しいことであるのか、改めて気付かされました。それにしても、みなさん甘いものには目がないんだなあ!!



(かんだ連雀 介護員 笹川 歩)

# きずな

## 農作業が アツイ

きずなでは、敷地の中に花壇があり、季節の花や野菜を栽培しています。

今の旬は「ミニトマト・ゴーヤ・しそ・セロリ」です。この暑い中、たくさん汗をかきつつ、利用者の方も草むしりや、水やりを手伝ってくれます。

夏野菜の成長は早く、支え木を探すのも一苦労です。みるみるうちに、蔓は子どもの背丈を追い越します。赤くなったミニトマトを収穫!! 手間隙かけて、自分達で作ったものは感動の美味しさです。

農作業の体験を通して、心と身体も育み、食の大切さを感じてもらえると良いなと思います。



(きずな 母子指導員 紫野 久子)

# しらとり

## ママたちが アツイ

寮内でママサークルを作ってみようと募集したところ、何名かのママたちが参加を申し込めました。6月の初旬にサークルはスタートを切り初の顔合わせをしました。

それぞれが改めて自己紹介をするなど、まだそれほど打ち解けていない中ですが、メンバーになったママたちがやってみたい活動、作りたい物などの意見を出し合っていて、話し合いの末に決めたもの。それは自然な流れで「子どもの物を作ること」になりました。子どものオモチャになるような物、子どもが喜ぶような物を考えました。サークルはまだ始まったばかりですが、ママたちの創作熱は高まり熱気ムンムンです。きつと心のこもったステキな物が完成することでしょう。



(しらとり 臨床心理士 川崎 悠子)

# たっち

## 子育てパパが 熱い!!

梅雨入りして2週間が過ぎた6月27日、たちでは『パパと遊ぼう! 生まれ☆一歳パパ』と銘打ってお父さん向けの講座が行われました。

いつもは仕事で忙しいお父さんたちと思いつきり遊ぼう!と、16組のお子さんとお父さんが集まり、大きな布を使って、かくれんぼやブランコのようにして遊びました。お子さんだけでなく、お父さんも一緒にたくさん汗をかき、あっという間の1時間半。たくさん笑顔やお子さんたちのキラキラした笑い声が響き、ひろばの中は熱気に包まれていました。

たっちの土曜日・日曜日には多くのお父さんとお子さんの姿を見かけます。この日のお父さんたちの『子育て楽しい熱』が冷めず、またたちに来て他のお父さんたちにもその熱をうつしてほしいなと思います。



(たっち 保育士 嶋田 歩)

# ニュース

## 安心・安全な食事を お届けするために

あさひ苑では、東京都自主管理認証制度を取得しました。府中市内の老人ホームでは初めての取得です。

聞き慣れない制度と思いますが、東京都の規定に基づきあさひ苑の厨房の衛生管理を第3者機関が審査し評価します。施設に応じた衛生管理方法を具体的に「自らが定め」、「その方法をマニュアルにして」、「確実に実行する」という三つの考え方に基づいて定めます。この三つをクリアしていると認証を受けることができるのです。

日々の基本的な衛生管理の徹底が食中毒などのリスクを低減し、利用者の安心・安全な食生活を守ることに繋がります。認証を取得したことはスタートです。今後もおいしくてさらに「安心・安全な食事」をお届けできるように、取り組んでまいります。

(あさひ苑 食事係 栗沢尚広)



## 御寄贈ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

NPO法人 セカンドハーベスト・ジャパン 秋葉原撮影会.com 大竹英夫 株式会社 府中ミルクセンター 金井カツ子 金子敬三 株式会社サンリオヨーロッパ 株式会社ヤクルト球団企画推進部 国際ソロブチミスト 小島惠子 財団法人松山バレエ団 清水三恵 高木一行 東京都児童会館 東京都立誠明学園 林茂子 平野吾一 フィリップモリスジャパン株式会社 峯佳見 明治神宮崇敬会 明治安田生命保険相互会社 (2010年4月〜2010年6月)

## ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

- 会田久枝 青木成江 青山幸子 赤林好子 秋山 枝 鈴木嘉子 スターバックスコピー 清板陽恵美子 浅野貞子 網代恵美 網代弘子 荒木奈津代 有馬政子 飯塚喜美子 井口イマ 池島敦子 囲碁を楽しむ会 石井忠男 石井宏 石井美保子 石垣孝子 石坂友子 石澤圭子 石坂勝世子 市川アイ子 市川知子 伊藤うめ子 伊東富美子 井上宏子 井上真左子 井上陽子 伊庭良治 井踏世津子 今井百合香 岩佐和栄 岩崎順 岩崎敏信 上野玲子 上原智美 浮岳妙生 鶴澤シヅ 内堀美喜 梅原薫 梅原光洋 上床見代 江口重津子 江田廣子 NPO法人花咲き村 海老原志づつ 遠藤伊代 遠藤みつよ 遠藤陽子 大倉弘子 大島藤子 大島庸子 大竹義昭 大塚沙恵 岡田愛子 緒方シゲ子 岡田基子 岡野玲子 岡裕子 小川健治 荻村光恵 荻原和子 小熊美和子 奥山亜子 奥山チヤ子 小倉道子 オコサの会 尾崎ヨシ子 小澤アイ子 御野礼子 折田浩一 カイイアロハ小野フラハラウ 海江田紀久子 柿本純子 笠間豊子 梶田慶子 鹿島千重子 柏山和子 梶由昭 片桐キミ子 カットサロンアベ 加藤紀久代 加藤さよみ 加藤静加藤美枝子 加藤洋子 金澤静江 金子武仁 上沢美和子 上村峰隆 上村代志子 川上満寿美 川崎綾子 川迫美奈子 川島順子 北村よしこ 木村幸子 久保田摩耶子 藏内睦子 栗原宏子 桑原侑子 弦間まさ 小石暁子 小出晨一 小由美子 小岩井雅人 河野トシヨ 小堺信子 菅よし江 五谷律子 後藤祐輝 こならく 小林久恵 小林久子 小林真弓 紺野和子 今野幸子 財団法人府中文化振興財団 齋藤孝子 齋藤則子 酒井和子 佐久間桂子 桜山健 佐々木英子 佐藤秋子 佐藤英子 佐藤公子 佐藤恵以子 佐藤妙子 佐藤ななか子 佐藤初江 佐藤洋子 佐野田鶴子 二貨物 塩澤佳津子 塩田攻 重田文子 品田啓子 島田たす 嶋野真理子 清水文枝 下江美鈴 下中恵美子 十べえお話の会 進藤サエ子 進藤輝子 杉本節子 杉山恵子 鈴木好
- 枝 鈴木嘉子 スターバックスコピー 清板陽子 関長隆 関文代 瀬戸貞子 浅間の森ハンドベルの集い 高鍋恵子 鷹野榮子 高橋ちよ子 高橋利江 田口裕香 竹内由美子 竹松ふく 田桃子 辰本ケイ 田中久美子 田中幸子 田中智加子 田中翠 田部美智子 丹野由紀子 たんぼの会 土屋和子 土屋とき枝 角田洋子 戸井田 清子 戸井田紀子 東郷實枝子 栃谷さき 富田和代 富田秀子 豊嶋千代子 豊島眞樹子 豊永昌子 永井イエ子 中里良太 中下秀子 中嶋永子 長島広美 永田良子 中村紀久子 中村清美 中村フサ子 中村美佐江 中村恭俊 中山康 中山雍子 西久保長子 西宮智恵子 西村珠美 西山京子 二宮澄子 根岸路子 野坂昭弘 萩野未佳 萩原八枝 橋場路 橋本節子 長谷川宣子 羽島みほの 羽山直子 原恭子 原田園彦 原田康子 ピカケ小柳 樋口淳子 樋口雅子 樋口よし子 肥後住江 尾藤智子 泉順子 平井暉子 平賀登美子 平澤みどり 平田敦子 広木さく江 廣田早苗 船岡栄子 舟見三佐子 ふれあいクラブ浅間 星川美津子 星野智子 星野ユキエ 堀田武三郎 ボディーショッブ 本田純子 前田宗治 牧内ヤス子 政所優季 松浦良枝 松尾和枝 松川友樹 松澤通子 松下 松下朋子 松下葉子 松島加奈子 松野アイ 三坂孝子 壬生みつ子 宮崎清子 箕輪貴陽子 三輪孝子 宮地和佐子 明神冷子 村井福子 宮下美智子 宮田和子 望月友子 森田珠恵 母里英子 森満隆文 森玲子 森脇敦子 八重の会 谷目祥子 矢ヶ崎綾子 山下優子 山田一九 山田佳津江 山田ケイ子 山本紗綾 山本峯子 悠学の会 ゆうかファミリア 吉川孝一 吉田千鶴子 吉田ヒサ子 吉田睦子 米山秀子 脇山令子 渡辺勝柁 渡辺勇 渡辺キク 渡邊さき子 渡辺秀雄 渡邊弘子 渡辺光枝

## 編集後記

今年の夏も暑さに負けず元気いっぱい過ごしたいと思います。

(あさひ苑 伊東裕子)

今の私は読書の秋ではなく「読書の夏」です。エアコンの効いた部屋で、至福の時です。

(あさひ苑 長峰茂子)

汗っかきには辛い季節となりました。暫くラーメンはおあずけです。

(泉苑 黒部雅之)

編集委員、一年生です。「読んでいる方に伝わる文章」を心がけて取り組みました。今後ともよろしくお願いたします。

(泉苑 牧野美輝子)

皆さんに興味を持って読んでいただける紙面作りを目指します。

(緑苑 大沢清佳)

初めての編集委員です。みなさんと協力して良いものを作れるように頑張っていきたいと思います。

(岩本 谷川蘭)

右も左も分らない新人編集委員ですが、いいものができるよう精進したいと思います。(かんだ連雀 三宅めぐみ)

今回、表紙をきずなで担当させて頂きました。きずなの仲良し親子です。(きずな 紫野久子)

今年から再び編集委員になりました。「活字」と仲良くなれるようになっていきたいと思っています。(たっち 嶋田歩)

夏本番！旬の野菜をたくさん食べて元気に爽やかに乗り切りたいっ！！(しらとり 川崎悠子)

初めて担当をさせて頂きました。魅力的なしんあいを作成後ともよろしくお願申し上げます。(事務局 冠寿枝)

しんあい24号から編集委員になり、一号一号気持を込めて発行してきました。74号は51番目の記念すべき子どもです。(編集長 上野廣美)

## 介護に関するご相談は 無料ダイヤルで！

●泉苑在宅介護支援センター  
☎0120-6540-24  
老後支援24時間

●あさひ苑在宅介護支援センター  
☎0120-2942-24  
福祉にっこり24時間



多摩同胞会の  
ホームページを  
携帯でもどうぞ！